

青森県視覚障害者情報センター
令和5年度利用者アンケート集計結果

昨年実施したアンケートについて、送付数446名に対して110名の方からご回答いただきました（回答率24%）。昨年の回答率を上回りました。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

集計結果は、以下のとおりです。ご意見・ご要望について、回答できるものは回答しています。皆様の貴重なご意見を、今後の情報センターの運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

※（ ）内の数字は割合（%）

1 アンケート結果

問1 あなたについてお聞きします

(1) 性別 ①男 56人(51.4) ②女 53人(48.6)

(2) 年齢

①19歳以下 1人(0.9) ②20代 0人(0)

③30代 2人(1.8) ④40代 9人(8.3)

⑤50代 16人(14.7) ⑥60代 31人(28.4)

⑦70歳以上 50人(45.9)

(3) 職業

①公務員 4人(3.7) ②会社員 7人(6.5)

③団体職員 2人(1.9) ④自営 20人(18.5)

⑤パート・アルバイト 5人(4.6)

⑥学生 2人(1.9)

⑦無職 68人(63)

(4) 居住地

- ①青森市 34人(31.2)
- ②青森市以外の市 49人(45)
- ③県内の町村 17人(15.6) ④県外 9人(8.3)

(5) 来館目的

- ①図書閲覧・貸出 6人(18.2)
- ②養成研修 5人(15.2) ③施設利用 4人(12.1)
- ④見学 3人(9.1)
- ⑤その他 15人(45.5)

問2 視覚障害者情報センターの管理・運営について

- ※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満
1 大変不満

(1) 開館日や開館時間について

- 5 25人(29.1) 4 12人(14)
- 3 47人(54.7) 2 2人(2.3) 1 0人(0)

(2) センターの清潔さについて

- 5 12人(34.3) 4 8人(22.9)
- 3 15人(42.9) 2 0人(0) 1 0人(0)

(3) 職員・スタッフの対応について

- 5 59人(67) 4 9人(10.2)
- 3 20人(22.7) 2 0人(0) 1 0人(0)

(4) 点字・録音図書の提供について

- 5 45人(50) 4 21人(23.3)

3 22人(24.4) 2 2人(2.2) 1 0人(0)

(5) 青い森通信について

5 46人(45.1) 4 16人(15.7)

3 38人(37.3) 2 2人(2) 1 0人(0)

(6) はまなすシリーズについて

5 35人(46.7) 4 12人(16)

3 27人(36) 2 1人(1.3) 1 0人(0)

問3 行事について ※参加した場合、5段階評価も

※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満

1 大変不満

(1) 「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

5 8人(29.6) 4 5人(18.5)

3 11人(40.7) 2 2人(7.4)

1 1人(3.7)

(2) 「視覚障害者情報機器操作講習会」について

5 6人(40) 4 3人(20) 3 6人(40)

2 0人(0) 1 0人(0)

(3) 「ふれあいの集い」について

5 7人(35) 4 4人(20) 3 7人(35)

2 2人(10) 1 0人(0)

問4 センター全体の満足度について

5 40人(46) 4 19人(21.8)

3 28人(32.2) 2 0人(0) 1 0人(0)

2 ご意見・ご要望と回答

(1) 図書について

- 青森に無いものは他から取り寄せてくれる。ありがたい。
- 注文したらすぐに来るので満足している
- もっと分野を広げてほしい
- 料理レシピや手芸・娯楽など、生活に潤いを与えてくれる本を増やしていただけると嬉しいです
- 新しい図書を多く取り入れてほしいです
- お願いした図書がもっと早く完成すれば言うことなしです
- シネマデイジーで作成しているのが、聴こえない時があるので、普通の音声デイジーに切り替えられたら、お願いしたいです
- 録音図書の時間が1つの物語が長すぎる（図書）。一度に全部聞けない為、最初の方が忘れてしまう

【回答】センターでは月1回、図書選定会議を開いています。製作図書の選定は、お寄せいただいたご希望や人気のあるジャンルを中心に、幅広い分類から選ぶように努めております。しかしどうしても人気のある文学分野が多くなる傾向にありますので、今後も文学に偏らない選書を目指します。

なお蔵書製作は奉仕員と職員の共同作業で完成までに時間がかかるものですが、県内の利用者であれば、早期製作を目指すプライベートサービスも受け付けておりますので、お問い合わせください。

また「シネマデイジー」は当センターで製作しておりませんので、ご意見は製作館に伝えさせていただきます。何か不具合があった場合、タイトル名とその旨をお電話などいただければ幸いです。

(2) 青い森通信について

- デイジー版 最後の川柳が苦痛…川柳以外のものもあれば良い
- あまりおもしろくない
- 青い森のリニューアルが良い。アンケートからの「今月のトピックス」がよかった。アンケートが大切にされていると感じた
- 雑誌紹介を楽しく聞いています
- 電子メールで送っていただいておりますので、簡単に読むことが出来てとても助かっております。
- 毎月新しい情報がきけてとても助かっています。コミック本やアニメのノベライズ又は原作などの特集もしてほしいです
- 日常生活でのちょっとした工夫や、使ってみて良かったグッズなど、利用者が紙面上で紹介し合えるコーナーを設けていただきたいです

【回答】ご感想・ご要望ありがとうございます。昨年度のアンケートをもとにした雑誌の紹介などが好評いただきありがとうございます。今後ご要望を反映できるよう、検討してまいります。

「青い森通信」の媒体は、現在点字、墨字、カセットテープ（令和6年3月まで）、デイジー版があります。またメール送信は利用者の使用機器に合わせてメール本文への添付、Word 文書添付、点字データ添付から選ぶことができます。デイジー版は「はまなすシリーズ」と「東奥文芸」が収録され、3時間以上のボリュームとなっておりますが、デイジー図書は、途中停止・再生やレベル移動での読み飛ばしが簡単ですので、便利にご利用いただければ幸いです。

(3) はまなすシリーズについて

- 話題豊富でいちばん興味ある。貴重な情報。
- 雑誌の種類や県内の新しい店舗など行く事はできなくてもいつか

行けるかな？と楽しみにしながら聞いています。

- バラエティに富んだ情報を取り上げてくださるので毎号たのしみ
にしています。特に県内のグルメ情報は、知らないものが多く、興
味深いです
- （市町村ネタ）1カ所ずつじゃなく、いっきに県内10市聞きたい
- 情景が浮かぶような情報をもっとあればいいなと思います。若い
人達の興味を引きつけるものもあれば良いと思う
- 映画が好きなので、映画のランキングや、映画の紹介が欲しい

【回答】はまなすシリーズはデジ版とカセットテープ版で発行
している音声情報です。情報源は、地元誌を主として、インターネッ
トからも視覚障害者に関連のある話題や地域の話題を取り上げてい
ます。

地域の情報は県内の市町村が偏らないよう記事を集めていますが、
時期によってはお伝えする情報が少ない地域もありますのでご了承
いただければと思います。

また、映画に関する情報については以前もご要望をいただいてお
りました。しかし、雑誌の製作時期と発行時期が1ヶ月以上ずれるた
め、リアルタイムの情報を伝えるためにどうしたらよいかと実現で
きておりませんでした。ご要望を反映できるよう、検討してまいりま
す。

（4）「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

- いろいろ体験ができて良い
- 八戸市でも開催してほしい
- 昼食の案内がなかった。ブースを回る余裕がなかった
- 会場の都合など、難しいとは思いますが、音声の出るグッズは、場
所を分けるなどして、もう少し静かな所で体験できたら、もっと良
いのかなあと思います

- 主催者側の負担もあるかと思いますが、会場の様子の配信と合わせたハイブリッド開催をしていただけないものでしょうか。青森県内でも交通が不便な地域に住んでいる方もいらっしゃると思いますし、私のように青森県外に在住している登録者もいます。

【回答】これまで、福祉展は平成29年に弘前市、平成30年に八戸市と、青森市以外でも開催してきました。今年度はコロナ禍以前の通常通りの形で青森市で開催しました。

会場の様子の動画配信については、当日の撮影スタッフ、各ブースの解説などを行う必要があるため、現状は実施が厳しい状況です。申し訳ありません。もちろん参加できなかった皆様にも会場の様子を伝えるため、「青い森通信」に記事を掲載し、今年度はiPhoneの講演を録音したものを希望者へ貸出しました。このように参加できなかった方への配慮も含めて、いただいたご意見を参考に、皆様が楽しんでいただけるよう職員一同努めてまいります。

(5)「視覚障害者情報機器操作講習会」について

- 点字を読むのに疲れてきたら参加したい。センターでやってみたらどうか
- 以前参加した。よかった。
- 毎年、弘前に来て欲しい
- プレクストークに限らず、デイジー図書を読める機器が増えているので、そんな機器の紹介もしていただけたらと思います
- 操作の講習会について、日曜日だけでなく他の曜日にも開いてくださると参加できるので、助かります。

【回答】この講習会は、プレクストークなどの情報機器の操作の講習を行い、より便利に読書を楽しんでいただくことを目的とし、令和2年度より開催しております。これまで、むつ市、八戸市、弘前

市、黒石市、三沢市で開催しました。開催曜日は、参加希望者に合わせて決定しております。これまで、開催を予定していましたが、参加者がおらず中止となったことがあるため、令和6年度はいただいたご意見をもとに希望者のいる地域での開催を検討しております。原則は希望者が教わりたい機器について講習しておりますが、今後はセンターにある機器の紹介もしていけたらと考えております。

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

(6)「ふれあいの集い」について

- 青森市でやるのは良いが、会場を変えられると困るので、同じ場所でやってほしい
- 行事に参加したいけど、福祉展もふれあいの集いもと短期間に2つも行かれない。2つ一緒にまとめてやってはどうか。午前に福祉展、午後にふれあい等
- 青森市、弘前市、八戸市、1年ごとに場所を変えては？
- 講演より会員と奉仕員の懇談の時間を延長してほしかった。イリエさんの展示を触れる時間をもっと増やしてほしかった

【回答】「懇談や、情報交換できる時間をもっと増やしてほしい」という意見が数件ありました。他に開催地、開催場所等についての具体的なご要望もありましたので、これらを踏まえて職員一同で検討・計画し、利用者、奉仕員の参加者皆様が楽しめるように努めてまいります。

(7) センターの広報について

- 今現在の会員だけでなく、まだこのセンターを利用できていない人へ働きかけてほしいです
- 「センター見学ツアー」みたいな感じで、もっと気軽に遊びに行く

感じで見学できたら良いと思う

- 最近センターの認知度は徐々に上がってきているように思う。機会を捉えマスメディアでの啓発活動などが県民の目に触れる機会が増えているように感じる
- 市役所窓口で身障者手帳を交付された時に点字図書館、ロービジョンセンターの存在と連絡先を知らせるよう要望したいです
- 中途失明者が引きこもらないように、積極的な啓発活動を。眼科と連携したロービジョンケアの取り組みの推進を
- センターのPRについて、SNS やイベントの Web 配信など、もっと積極的に行った方が良いかと思えます。利用者の高齢化ということが言われていますが、若い世代への PR 不足が一番の原因ではないでしょうか。

【回答】令和5年5月1日の東奥日報の記事に大変反響があり、今年度の点訳・音訳・デイジー編集奉仕員養成講習会への問い合わせは例年以上のものでした。また、NHK のラジオ、テレビでもセンターのPRをしていただいております。今後も各報道機関を通じ、センターのPRに努めてまいります。

また、昨年度もお答えしておりますが、SNSの活用は非常に有効なPRの手段と考えますが、日常業務との兼ね合い等から、アカウントの開設が進まないのが現状です。引き続き慎重に検討してまいります。

さらにいただいたご意見を参考に、役場、眼科医会や自治体と連携し、センターのPRをしてまいります。利用者の皆様のお知り合いに、未利用者がおられましたら、是非センターの紹介をお願いいたします。

(8) アンケートについて

- アンケート毎年変りばえしない。設問の内容をもう少し多角的

に。

- アンケートを記名式にすればいいと思います。回答率が20%とはひどすぎます。
- 利用者がもっとアンケートに答えるべきだと感じている
- アンケートの結果ははっきり発表してほしい

【回答】アンケートについて、「毎年同じ質問項目は意味がないのではないか」という御意見もありますが、鑑文で説明している通り、県からの指定項目で、変更できない設問があるためご了承くださいませようお願いいたします。

今年度は、年々低下していた回答率が上がりました。センターのよりよい運営のため、引き続き皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

3 これまでに読んだ図書で、よかったと思うもの

- (点字)「新参者」ほか東野圭吾著 理由は、全部おもしろい飽きない。科学的でもあり人情味もあり、心に響く。読んでみて。
- (点字)山口恵以子のシリーズ。理由はおもしろい。レシピが載っているのが良い。自分では作らないけどメモしちゃう。

他、30件以上のご回答をいただきました。

【回答】皆様、貴重なご感想をありがとうございました。奉仕員にも同様のアンケートを行いましたので、そちらとあわせて令和6年度の「青い森通信」誌面でご紹介させていただきます。